

# 平成30年度 事業報告

## 1 事業概要

平成30年度は、社会福祉法が求める法人経営における「ガバナンスの強化」、「透明性の確保」、「財務規律の強化」について引き続き取り組みました。本部機能の強化をはじめ、各施設における諸課題の洗い出しや人材確保の取り組みなど、個別事業の中には計画を下回ったものもありますが、全体としては、法の趣旨を踏まえながら、老福施設、保育所ともに順調に運営することが出来ました。

老福施設では、介護報酬がプラス0.54%の極めて小幅な改定であり、依然として厳しい運営となり、さらに、9月に発生した胆振東部地震により、特養施設においては約4箇月にわたり被災地からの緊急受入を行うなど、相互支援の考えから積極的に支援するとともに、稼働率の向上に努めました。

また、老福施設の財務体質の改善として、財政負担の軽減と保有資金の有効活用を図るために、エンルムハイツユニット型施設の建設借入金の繰上げ償還を実施しました。今後の法人全体の資金収支にも大きなプラスになるものです。

さらに、デイサービスセンターかがやきについては、多年にわたる指定管理者としての実績が評価され、令和元年度から室蘭市より移管され名実ともに法人事業となりました。白鳥ハイツ、あいらんにおいても堅調な経営実績を上げており、エンルムハイツも大きく改善傾向にあります。

保育事業では、双葉保育所改築の基本設計を終え、元年度は実施設計、工事着工を予定し令和2年4月オープンを目指します。6保育所の利用状況は、前年よりやや低下しましたが、入所率は105%であり安定した運営に努めました。

これらの結果、施設整備の積立としては、老福施設では4,800万円を積立てることができました。なお、積立金残高については、先の繰上げ償還もあり、1億7,305万円減少し、30年度末で3億4,633万円になります。保育所では2,950万円と前期末残高の一部7,950万円を合わせ、計1億900万円を積み立てることができ、30年度末で6億1,100万円になります。法人全体では、9億5,733万円になりました。

地域貢献については、新たに福祉サービス利用援助事業として、要請に応じて独居生活の高齢者に対する金銭管理や生活のアドバイスを行うほか、あいらんにおいては、引き続き高齢者の引きこもり防止として、冬期間のあいさぽ事業を実施しました。

30年度からの第2次中期経営計画の重点目標においては、1年目の取り組み結果としては、多くの事項は継続協議になっていますが、施設整備のための積立金は、繰上償還による減少を除き概ね計画通り推移しており、今後も、計画目標の達成に向けて職員一丸となって取り組んで参ります。

## (1) 特別養護老人ホーム（白鳥ハイツ、エンルムハイツ従来型・ユニット型）

平成 30 年度は、全国的に台風や地震災害等の自然災害が多くあり、9 月には北海道厚真町においても北海道胆振東部地震が発生しました。被災した厚真町の特別養護老人ホーム豊厚園も建物に大きな被害があり、利用者も避難せざるを得ない大きな災害となりました。白鳥ハイツ、エンルムハイツにおいては、避難をした利用者の受け入れを仮設施設が建設されるまでの約 4 箇月間にわたり行いました。今後も各施設においては、災害への備えを万全にして参ります。

また、4 月から介護報酬が改定されましたが、経営状況は依然として厳しい状況であるため、経費の見直しや削減に努め、安定した稼働率・収入を確保し質の高いサービスの提供を目指しました。その中で看取り介護や認知症ケア、自立支援介護に取り組み、地域住民から選ばれる特色のある施設を目指し、地域における虐待高齢者等の受入れも関係機関との連携により積極的に行い、権利擁護事業等の活用にも努めました。依然として介護職員等の人材不足は解消されず大きな社会問題となっておりますが、全職員がご利用者・ご家族一人ひとりに向き合うことで信頼感と満足感のある笑顔が溢れる施設づくり、介護サービスの提供をして参ります。

※平成 30 年度 1 日平均入所者数・平均稼働率（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（定員 100 人）	94.2 人 94.2%（△1.8 人、△1.8%）
従来型エンルムハイツ（定員 46 人）	44.0 人 95.6%（+2.1 人、+4.6%）
ユニット型 〃（定員 54 人）	51.8 人 96.0%（+1.1 人、+2.1%）

## (2) 養護老人ホーム（あいらん）・特定施設入居者生活介護事業所

養護老人ホームでは、地域におけるセーフティネットとして緊急的な受け入れにも積極的に対応しました。特に近年は、虐待による入所が増加傾向にあり、施設退居後においても安心できる生活環境が確保できるよう支援に万全を期しました。

また、特定施設としては、機能訓練の充実を図るとともに看取り介護をはじめとした重度化対応にも取り組み幅広い高齢者福祉施設として介護や支援に努めました。

地域貢献への取り組みとしては、平成 30 年度で 2 年目となる「あいさぽ事業」は、参加者も増加し、介護状態にならないための予防体操や認知症予防などを行い、地域のコミュニティ作りの場としても活用されました。さらに、11 月より絵鞆地区地域サロンや町内会夏祭り、盆踊りなどへの施設利用の提供、災害等の避難訓練を近隣の幼稚園との共同実施により地域に開かれた施設づくりに取り組みました。

入所の状況としては 24 人が新規入所され、うち 13 人が、虐待、認知症による生活困難者、震災による自宅損壊等の緊急入所対象者でした。

※平成 30 年度 1 日平均入所者数・平均稼働率（前年比 増△減）

養護老人ホーム（定員 80 人）	78.9 人 98.6%（+0.5 人、+0.6%）
うち特定施設（定員 30 人）	28.8 人 95.8%（+0.2 人、+0.6%）
あいさぽ事業	12 回 66 人（±0、+23 人）

### （3）デイサービスセンター（白鳥ハイツ、エンルムハイツ、かがやき）

平成 30 年度からは、白鳥ハイツ、エンルムハイツにおいても、機能訓練指導員を配置し、利用者の身体機能の維持向上と新規利用者の確保に努めました。

また、地域包括ケアシステムを進めるに当たり、地域福祉の拠点として交流の場の提供、介護保険制度の理解や介護等の悩み相談を通して利用者家族への介護負担の軽減（レスパイトケア）を推進しました。

かがやきカフェでは、認知症対策事業を実施しており、2 月に実施した VR 認知症体験会には多くの地域住民も参加し疑似体験をとおして認知症への理解を深めたほか、各種講座の開催、啓発活動を積極的に実施しました。また、かがやきは市の指定管理制度のもとで運営していたが、平成 31 年 4 月より移管され当法人の所管事業になりました。

※平成 30 年度 1 日平均利用者数・平均稼働率（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（通常定員 35 人）	26.5 人 75.7%（+1.3 人、+3.7%）
エンルムハイツ（通常定員 31 人）	23.1 人 74.5%（+2.6 人、+8.4%）
かがやき（通常定員 25 人）	23.3 人 93.2%（+1.4 人、+5.6%）
〃（認知定員 12 人）	7.3 人 60.8%（+0.7 人、+5.8%）
〃 カフェ（認知症）	25 回 176 人（+1 回、+18 人）

### （4）訪問介護事業（エンルムハイツ）

毎月の研修会の実施等により、専門職として在宅生活継続を支援していくための介護技術向上に努め、生活援助においては、利用者とヘルパーと一緒に掃除を行うなど、自立支援等にも対応したことにより訪問回数の増にも繋がりました。

※平成 30 年度 利用回数（予防含む）（前年比 増△減）

訪問回数	272 回/月 実人員 36.4 人/月（+9 回/月、+3.1 人/月）
------	---------------------------------------

#### (5) 居宅介護支援事業（白鳥ハイツ、エンルムハイツ、かがやき）

困難ケースにも積極的に対応するために継続して毎月 3 事業所による研修会や情報交換会の勉強会を実施し、主任ケアマネ等による外部の研修会にも積極的に参加しました。

※平成 30 年度 プラン作成件数/月（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（ケアマネ 2 人）	78 件（+2 件）
エンルムハイツ（ 〃 3 人）	102 件（+2 件）
かがやき（ 〃 2 人）	78 件（+2 件）
ケアマネ 1 人当たり平均件数	37 件（+1 件）

#### (6) 地域包括支援センター（白鳥ハイツ～室蘭市からの受託事業）

市内には地域包括支援センターが 4 箇所設置されており、白鳥ハイツは、祝津地区、白鳥台地区、本輪西地区を担当地域とし、地域包括ケアを支える中核機関として、介護予防や心身の健康保持及び生活の安定の為に必要な援助を行いました。

6 人の専門職（主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、認知症地域支援推進員）を配置し、地域ケア会議の開催、高齢者の身体上・生活上の諸問題への支援、増加する高齢者虐待問題の早期解決について関係機関と連携して対応しました。

また、認知症地域支援推進員は、認知症サポーター講座や徘徊模擬訓練・認知症カフェ開催支援など認知症施策を推進しました。

※平成 30 年度 予防プラン作成件数/月（前年比 増△減）

作成件数	391 件（+22 件）
------	--------------

#### (7) 短期入所生活介護事業（白鳥ハイツ、エンルムハイツ）

平成 30 年度の介護保険制度改正により、認知症や介護の中重度の対象者の利用が多くなり、介護・医療体制の充実、介護支援専門員やかかりつけ医との連携に努めました。

また、家族の介護負担の軽減（レスパイトケア）への支援や、施設利用に際しては、利用開始前の健康状態を十分に把握し、緊急の利用等にも出来るだけ迅速に対応をしました。なお、北海道胆振東部地震の発生により、被災した厚真町の特養豊厚園の入所者が短期入所用のベッドを利用したため利用率はやや低下しました。

※平成 30 年度 1 日当たり短期入所利用状況（前年比 増△減）

白鳥ハイツ（定員 6 人）	4.0 人 66.5%（±0、+0.7%）
エンルムハイツ（定員 10 人）	6.6 人 65.9%（△0.9 人、△9.2%）

※白鳥ハイツ、エンルムハイツとも厚真の利用者を受け入れました。

#### （8）保育所（双葉・楽山・みどり・白鳥・東町・常盤の 6 保育所）

保育所運営では、歳児別保育を基本とした指導計画に基づき、子ども一人ひとりの成長に配慮し、健康で情緒の安定が図られる保育を実施しました。入所児童数については前年より減少しましたが、利用定員を上回る児童数となり安定した運営になりました。なお、児童数が減少した主な要因は、市内の保育士確保が厳しい状況と相俟って、障害児やグレーゾーンの困難事例も増加傾向にありその対応に保育士が割かれることから、それ以外の児童の受入れのための保育士の補充が困難なことによるものです。保育士の確保が今後の大きな課題です。

特別保育は、「延長保育」「一時預かり」「障害児保育」、東町保育所及び常盤保育所での「病児保育」、東町保育所の「早朝保育」を継続して実施し、独自事業としての完全給食（全児童に主食を提供）を実施したほか、工夫した献立により食育の推進に努め、常盤保育所及び東町保育所では「年始保育」を実施し、両事業とも保護者より評価されています。

双葉保育所の移転改築に向けては、前年度に編成したプロジェクトチームの先進施設や遊具展示会の見学を基に、具体的な規模、保育室等の配置を検討し、基本設計を行いました。令和元年度には、実施設計、改築工事を行い、2 年 4 月オープンを目指し作業を進めます。

子育て支援センターらんらんは、親子のふれあいの場の提供とともに様々な子育て相談を行いました。参加者は増加しましたが親子講座、訪問支援、ほかほかルームの利用は減少しました。ルーム参加者は、毎回のように通われる親子が多くなったこともあり利用人数は増加しましたが、0 歳児講座については、平成 30 年度より開設された子育て世代包括支援センターへの統合により合計の利用人数は減少しました。1 歳児、2 歳児講座はともに増加しており、引き続き周辺の子育て関連施設や商業施設等を利用した PR 活動を行ない、らんらんの周知拡大に努めます。

※平成 30 年度 保育所入所状況（6 保育所合計）（前年比 増△減）

利用定員 540 人	567 人 105%（△19 人、△3.5%）
------------	-------------------------

※平成 30 年度 らんらん利用状況（前年比 増△減）

ルーム参加者	5,320 人（+495 人）
サークル訪問支援	287 件（△47 件）
相談件数	586 件（+3 件）
親子講座	279 人（△81 人）
ほかほかルーム	138 人（△27 人）

## 2. 評議員会開催状況

### 第1回

- 1) 日 時 平成30年6月19日(火) 午後1時30分
- 2) 場 所 室ガス文化センター 大会議室
- 3) 案 件 報告2件、認定1件
- 4) てん末 報告第1号「平成29年度事業報告」を報告した。  
認定第1号「平成29年度法人決算」を審議し、認定された。  
また、報告第2号「平成29年度監査報告」を報告した。

### 第2回

- 1) 日 時 平成30年11月13日(火) 午後1時30分
- 2) 場 所 室ガス文化センター 大会議室
- 3) 案 件 報告3件、議案1件
- 4) てん末 議案第1号「定款変更の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
報告第1号「平成30年度法人会計決算見込みの件」を報告した。  
報告第2号「双葉保育所改築計画の件」を報告した。  
報告第3号「デイサービスセンターかがやき譲渡の件」を報告した。

## 3. 理事会開催状況

### 第1回

- 1) 日 時 平成30年5月28日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告2件、認定1件、議案2件
- 4) てん末 議案第1号「監事監査実施規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
報告第1号「平成29年度事業報告」を報告した。  
認定第1号「平成29年度法人決算」を審議し、認定された。  
また、報告第2号「平成29年度監査報告」を報告した。  
議案第2号「平成30年度定時評議員会招集の件」を審議し、原案のとおり可決された。

### 第2回

- 1) 日 時 平成30年8月24日(金) 午後1時30分

- 2) 場 所 本部会議室  
3) 案 件 報告2件  
4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第1四半期)」を報告した。  
報告第2号「理事長及び常務理事職務執行状況(4月～8月)」  
を報告した。

### 第3回

- 1) 日 時 平成30年9月20日(木) 午後1時00分  
2) 場 所 室ガス文化センター 中会議室  
3) 案 件 報告1件、議案7件  
4) てん末 議案第1号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決した。  
議案第2号「むろらん広域センタービル(株)債引受の件」から議案第5号「平成30年度かがやき拠点会計資金収支補正予算(第1号)までを一括審議し、原案のとおり可決された。  
報告第1号「双葉保育所改築計画」を報告した。  
議案第6号「平成30年度白鳥保育所拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第7号「施設長等任命の件」を審議し、原案のとおり可決された。

### 第4回

- 1) 日 時 平成30年10月26日(金) 午前10時30分  
2) 場 所 室ガス文化センター 中会議室  
3) 案 件 報告2件、議案5件  
4) てん末 議案第1号「定款変更の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第2号「平成30年度東町保育所拠点会計資金収支補正予算(第1号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第3号「平成30年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算(第1号)」から議案第4号「平成30年度法人本部拠点会計資金収支補正予算(第1号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第5号「平成30年度第2回評議員会招集の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
報告第1号「双葉保育所改築計画の件」を報告した。  
報告第2号「平成30年度法人会計決算見込みの件」を報告した。

## 第5回

- 1) 日 時 平成30年12月4日(火) 午後4時00分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告2件、議案8件
- 4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第2四半期)」を報告した。  
報告第2号「理事長及び常務理事職務執行状況(9月～12月)」を報告した。  
議案第1号「エンルムハイツユニット型施設建設借入金繰上げ償還の件」から議案第5号「平成30年度かがやき拠点会計資金収支補正予算(第2号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。  
議案第6号「双葉保育所改築計画の件」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第7号「双葉保育所改築工事基本設計業務委託の件」から議案第8号「平成30年度双葉保育所拠点会計資金収支補正予算(第1号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

## 第6回

- 1) 日 時 平成31年1月21日(月) 午後1時30分
- 2) 場 所 室ガス文化センター 中会議室
- 3) 案 件 報告2件、議案1件
- 4) てん末 報告第1号「双葉保育所改築工事基本設計業務委託入札結果の件」を報告した。  
報告第2号「業務管理検討委員会及び人事考課検討委員会の構成員指名の件」を報告した。  
議案第1号「苦情・相談第三者委員会委員選任の件」を審議し、選任した。

## 第7回

- 1) 日 時 平成31年2月26日(火) 午後1時30分
- 2) 場 所 本部会議室
- 3) 案 件 報告2件、議案11件
- 4) てん末 報告第1号「業務監査結果報告(第3四半期)」を報告した  
議案第1号「平成30年度エンルムハイツ拠点会計資金収支補正予算(第3号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第2号「平成30年度あいらん拠点会計資金収支補正予算(第2号)」を審議し、原案のとおり可決された。  
議案第3号「平成30年度かがやき拠点会計資金収支補正予算(第3号)」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第4号「保育所における人事院勧告に係る調整金支給の件」から議案第10号「平成30年度常盤保育所拠点会計資金収支補正予算（第2号）」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第11号「デイサービスセンターかがやきの移管に関する協定及び契約締結の件」を審議し、原案のとおり可決された。

報告第2号「双葉保育所改築工事基本設計納入の件」を報告した。

## 第8回

1) 日 時 平成31年3月26日（火） 午後1時30分

2) 場 所 本部会議室

3) 案 件 報告1件、議案23件

4) てん末 報告第1号「理事長及び常務理事職務執行状況（1月～3月）」を報告した。

議案第1号「平成30年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支補正予算（第3号）」から議案第10号「平成30年度法人本部拠点会計資金収支補正予算（第2号）」までを日程ごとを一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第11号「平成31年度事業計画」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第12号「平成31年度白鳥ハイツ拠点会計資金収支予算」から議案第22号「平成31年度法人本部拠点会計資金収支予算」までを日程ごとを一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第23号「施設長等任命の件」を審議し、原案のとおり可決された。